



令和3年度病院事業会計の決算見込みについて

収益合計は534億8千万円、費用合計は541億円で、純損失は6億1千万円と、前年度に続き赤字決算となりましたが、入院・外来収益や補助金収入の増加などにより、前年度に比べ16億2千万円の収支改善となりました。

現在、令和3年度に策定した「千葉県立病院改革プラン」に基づき、一層の経営改善に取り組んでいるところであり、県民の皆さまに安心していただける、よりよい医療を継続して提供出来るよう努めてまいります。

【決算見込みの概要】

令和3年度の収入は、入院収益がこども病院以外の5病院で、外来収益が全病院で伸びたことから、医業収益が13億4,805万円増加しました。また、新型コロナウイルス感染症対策等の国庫補助金が19億7,325万円増加、負担金交付金が8億4,044万円増加したことなどにより、医業外収益が39億654万円増加しました。これらにより、**収益合計では前年度に比べ49億3,373万円増加の534億8,385万円**となりました。

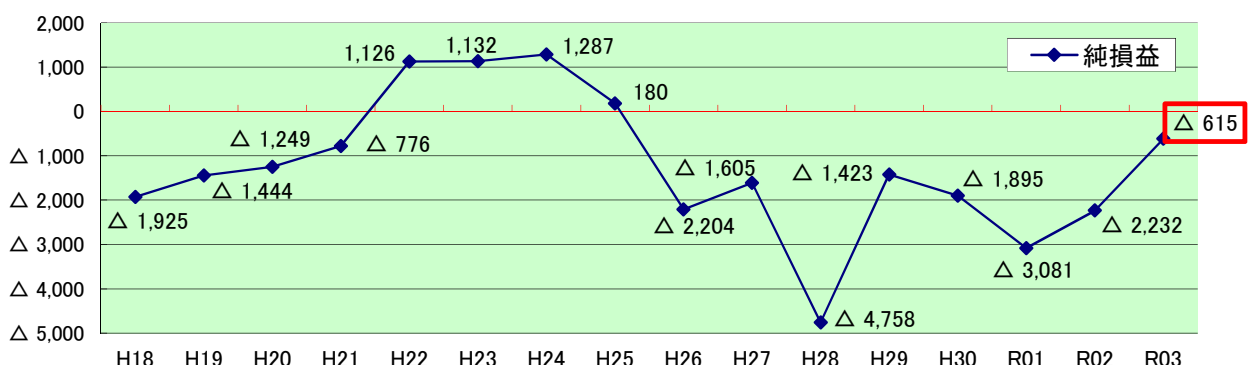
支出は、減価償却費及び経費などが増加したことから、医業費用が33億2,645万円増加し、また、雑損失や企業債利息などが増加したことから、医業外費用が2億5,828万円増加し、**費用合計では前年度に比べ33億1,617万円増加の540億9,859万円**となりました。

この結果、**経常収支が前年度に比べ16億6,986万円改善し△6億4,779万円**となりました。また、**特別損益は前年度に比べ5,230万円減少し3,305万円**となったことから、当期の**純損失は6億1,474万円**と前年度に続き赤字決算となりましたが、医業収益の増加などにより**前年度に比べ16億1,756万円改善**しました。

(単位：千円)

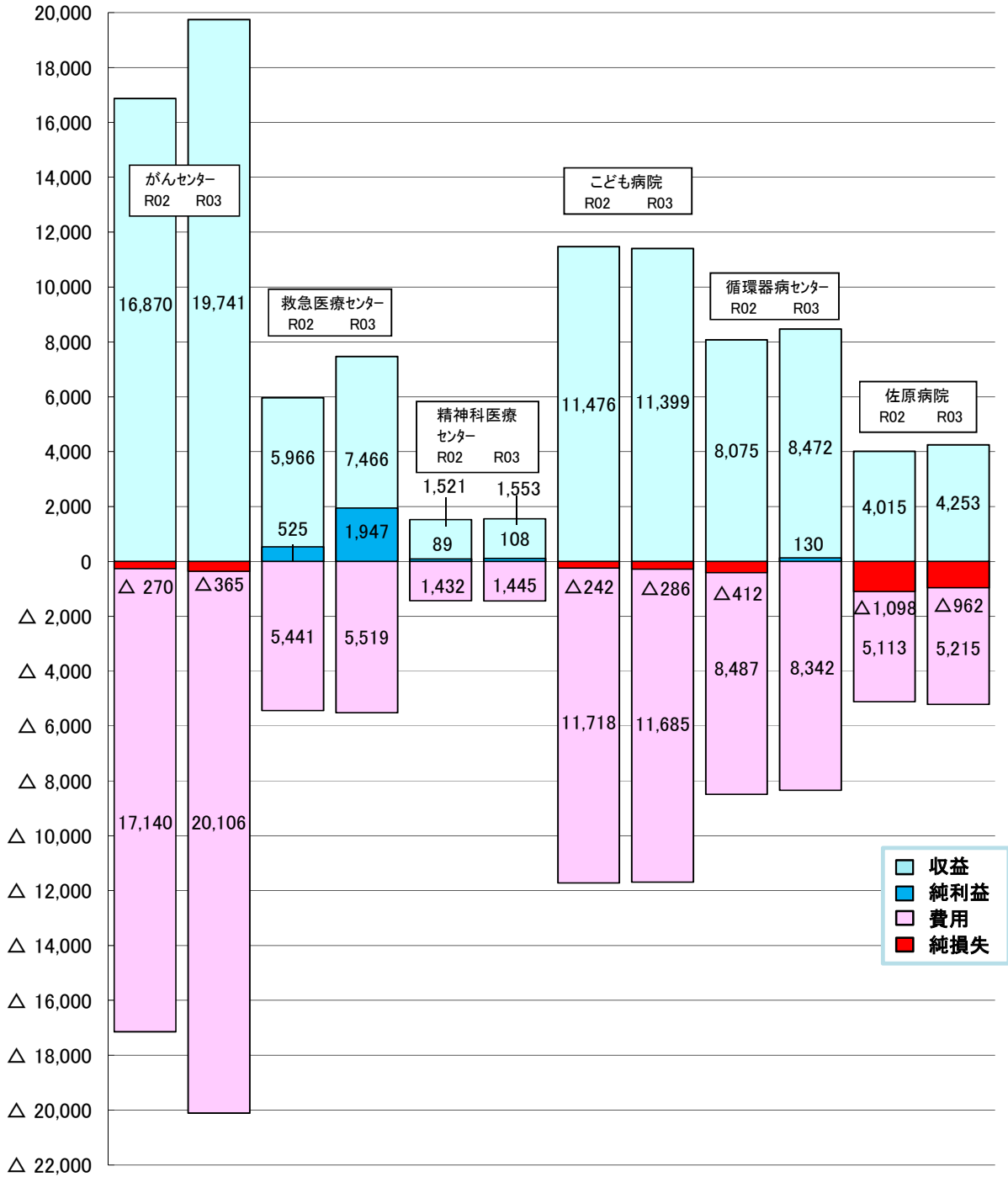
区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率(%)
医業収益 A	33,232,399	31,884,351	1,348,048	4.2
医業外収益 B	20,153,095	16,246,552	3,906,543	24.0
特別利益 C	98,352	419,214	△ 320,862	△ 76.5
収益計 ①(A+B+C)	53,483,846	48,550,117	4,933,729	10.2
医業費用 D	51,149,339	47,822,888	3,326,451	7.0
医業外費用 E	2,883,945	2,625,664	258,281	9.8
特別損失 F	65,303	333,864	△ 268,561	△ 80.4
費用計 ②(D+E+F)	54,098,587	50,782,416	3,316,171	6.5
経常収支 (A+B)-(D+E)	△ 647,790	△ 2,317,649	1,669,859	
純利益(損失) ①-②	△ 614,741	△ 2,232,299	1,617,558	

純損益の推移(単位:百万円)



病院別損益の前年度比較（単位：百万円）

	がんセンター	救急医療センター	精神科医療センター	こども病院	循環器病センター	佐原病院
経常利益	△385	+1,947	+108	△284	+134	△962
純利益	△365	+1,947	+108	△286	+130	△962



- がんセンターは、入院患者数及び外来患者数の増加並びに手術件数の増加により医業収益が増加（+912百万円：12,323百万円→13,235百万円）したものの、新棟建設に伴う減価償却費が大幅に増加（+1,765百万円：586百万円→2,351百万円）したため、純損失が若干増加しました。
- 救急医療センターは、手術件数の増加などにより医業収益が増加（+196百万円：3,097百万円→3,293百万円）したこと及び新型コロナウイルス感染症対策等による国庫補助金の増加（+1,219百万円：336百万円→1,555百万円）のため、純利益が大きく増加しました。
- こども病院は、外来患者数が増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策による病棟閉鎖により入院患者数が減少したため、純損失が若干増加しました。
- 循環器病センターは、入院患者数及び外来患者数の増加により医業収益が増加（+328百万円：4,880百万円→5,208百万円）し、また新型コロナウイルス感染症対策等による国庫補助金の増加（+351百万円：926百万円→1,277百万円）もあり、黒字転換しました。
- 佐原病院は、延べ入院患者数は減少したものの、外来患者数の増加及び入院単価の増加により医業収益が増加（+196百万円：2,790百万円→2,986百万円）したため、純損失が減少しました。